

大阪産業大学 プロジェクト共育 太陽系宇宙開発プロジェクト Solar System Space Development Project

宇宙航空研究開発機構(Japan Aerospace Exploration Agency: JAXA)小惑星探査機「はやぶさ」は、電気推進ロケットの一種であるイオンエンジンを駆り、2012年6月、小惑星「イトカワ」と地球の往復60億kmの旅を終え地球に帰還した。2014年12月にはさらに後継機「はやぶさ2」が人類の起源を探索するために打ち上げられ、小惑星「リュウグウ」に到着、ミッションを遂行し、順調に宇宙航行、2020年12月に無事地球に帰還した。そして、リュウグウの物資を地球に届けた後、新たな旅に出発した。まさに火星、木星などの惑星空間、太陽系内を多くの大型宇宙船が自由に行き来する、「**宇宙大航海時代**」の到来である。**太陽系が人類の生活圏になる日**はもうそこまで来ている。

これまでJAXAや特別な大企業でしか宇宙開発に携わることはできなかった。限られた組織以外に人工衛星を開発・打ち上げることなど到底できなかった。しかしながら近年の世界情勢の変化、技術向上により、一般の企業や大学においても小型衛星を設計製作し打ち上げることが可能になった。**宇宙が身近になった！もう決して夢物語ではない。宇宙は努力すれば誰でも手が届く存在になった。**

太陽系宇宙開発プロジェクトでは、学生主体の宇宙開発を目指す。特に、太陽系全体(太陽系圏)を人類の生活圏に発展させるために、必要不可欠な人類の活動・イベント・事象をターゲットとする。それは、工学にとどまらず、医学、生物学、農学、社会政治経済学、法学など、あらゆる学問、と**世界的・宇宙的な視野**に立った、政治経済ビジネス、法律をも網羅する。本学独自の小型衛星・惑星探査機の開発・打ち上げ、宇宙ビジネス・宇宙観光の展開、宇宙法の提案など、太陽系宇宙の開拓、太陽系生活経済圏の構築に挑む！

**文系理系を問わず、多くの分野の学生を募集中！
とにかく、宇宙に興味がある学生は来たれ！**

**未来は決まっていはいない！未来はつくるものである。
(もう一つ大事なことは)挑戦しなければ未来は開かない！
一緒に最先端の宇宙開発に挑みましょう！**

〒574-8530 大阪府大東市中垣内3丁目1番1号
大阪産業大学 工学部 機械工学科
プロジェクトリーダー

田原 弘一(機械工学科教授, JAXA元客員教授)

E-mail: hiroказu.tahara@ge.osaka-sandai.ac.jp

宇宙推進ロケット工学研究室HP: <http://space-rocket.mech.osaka-sandai.ac.jp>